

8月26日(土) 晴れ 参加 岡本(L)、上の原、嶋原、真鍋(記)

飯綱山は北信五岳の一つに数えられ、飯綱修験霊場としても有名で、又200名山の一つでもあり、多くのハイカーに親しまれている山です。26日、信濃道の駅にテントを張り仮眠、雨音で目が覚め、急いでテント撤収、軽く朝食をとり、コンビニで昼食を調達そのうちに雨も上がり、8時15分中社スキー場の駐車場に車を置き、ちびっ子忍者村の横を通り、8時30分、西登山口短縮道。登山道は、道幅の広い緩やかな登りで、カラ松、白樺、ブナの林間、道の両脇には、なんと真赤な木苺がいっぱい、私とSさんは採りながら食べ食べ歩き、しばらく歩くと古びた鳥居をくぐり。この辺りから、傾斜の厳しい登りになります。木々の間から見る景色もガスで真っ白、汗をふきふき。石のゴロゴロした道を頑張って登ると、やがて木々が減り、日差しがさして遠くに北アルプス白馬連邦、近くに戸隠連邦、道端には、シャジン 秋のキリン草リンドウ マツムシ草など秋の花が咲き、時おり吹く秋風に癒されるひと時で、頂上迄も尾根伝いの見晴らしの良い歩きやすい登りで11時山頂到着、頂上では赤とんぼが群衆で迎えてくれ、360度の展望が素晴らしい山です。頂上ではゆっくり昼食をとり、下山は瑠璃山に向かって少し急坂を下り、瑠璃山の登りは厳しそうに見えますが景色が良いので気持ち良い登りです。瑠璃山からスキー場跡を下り怪無山、ここは小川のような川沿い歩きです。川沿いが終わると中社グレンデスキー場でまだ開いてない薄紫のススキが秋風に揺れ草原のようでした。のんびりとした楽しい山行でした。後で知ったのですが、この山は願い事を一つだけ叶えてくれるそうです。機会があれば、又行きたい山です。



野イチゴ

8月27日(日) 晴れ 参加 岡本(L)、上の原、嶋原(記)

昨夜は戸隠キャンプ場のバンガローを借りて寝たが、夏シュラフの私でも寒かったです。真鍋さんは最初からトレランの計画であり、男3人で戸隠山へ出発、奥社門～随神門～奥社の中の杉並木は1000年以上の大木で古い歴史を感じさせる。今日の安全登山を奥社で祈願し出発する。ここからが登りがきつくなり、五十間長屋、百間長屋を過ぎたあたりから鎖場が現れ2時間弱歩くと蟻の塔渡りに着く、小休憩後、蟻の塔渡りを通過するが風もないのでスイスイ通過する。30分後には八方睨に着き、ここから10分強で戸隠山山頂に着く。残念ながら高妻山の上部は雲にかかっており全容が見えない。休憩していてもなかなか見えない。途中から見えるだろうと歩き出すとやはり高妻山の全容が見えだす。何度かアップダウンを繰り返し一不動避難小屋へ到着、休憩と昼

食を済ませ一不動沢を下る。

最初の計画では、26日（土）に戸隠山、27日（日）は飯綱山の予定であったが、一昨日の雨で沢が増水し歩けないであろうと急遽変更したのが良となった。しかし下るのも沢水が多く、また鎖場もあり、蟻の塔渡りより危険であるが無事に戸隠キャンプ場に到着、風呂へ入りたいが帰る時間の考え、戸隠キャンプ場にあるシャワー施設を利用して済ませる。

15時過ぎに出発する。長野道、中央道と順調にすすむが名神の栗東IC辺りで事故の情報、さてどうするか一宮PAで夕食を済ませながら検討、結果、名古屋高速～東名阪～新名神を経由して帰る事とした。栗東での事故は解消したとしてもドライバーのエラエラを考えるとこれで良かったと思われる。大阪へは22時過ぎに着く。岡本さん往復の運転ご苦労様、有難う御座いました。

奥社門6:20～随神門6:36～奥社7:05～50間長屋8:10～百間長屋8:15～蟻の塔渡り8:56、9:15  
～八方峯9:27～戸隠山9:40、9:47～一不動避難小屋12:10、12:31～登山口14:04



写真 左上：戸隠奥社  
左中央：蟻の塔渡り  
上：前上ノ原、後鳴原  
左下：縦走路～高妻山  
左中央：シラヒゲソウ